

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立日詰小学校（岩手県）【協力校】

【取組内容】 タブレットPCの活用 1年 生活科 「あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう」

【題材】

来年度入学してくる1年生に喜んでもらいたいという思いをもち、相手意識をもって新しい1年生との関わり方を決めるとともに、交流することのよさや楽しさに気付くことができる題材である。

ピラミッドチャートを用いながら、根拠に基づいて優先順位を決めた。



【タブレットPCの活用】

Yチャートに個々の考えを位置付けた後、話し合いを通してグループの考えとして整理した。さらにグループでピラミッドチャートを活用しながらやりたいことを焦点化し、全体で協議することを通して目的に即した活動内容とすることができた。



三人程度のグループで学び合い、個々の考えを交流しながら学びを深めた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立日詰小学校（岩手県）【協力校】

【取組内容】 タブレットPCの活用 5年 社会科 「日本の工業生産と貿易・運輸」

【題材】

資料からわかったこと等を自分なりにまとめたり，友達と交流しながら学びを深めたりする学習活動を通して，日本の工業生産と貿易・運輸についての特色を捉える学習である。

【タブレットPCの活用】

資料から読み取ったことをシンキングツールを活用しながら整理し理解を深める。さらに，提出された個々の考えを全体で交流し，新たな考えに触れることにより，自らの考えをさらに深めることができた。

PMIチャートを活用して整理。

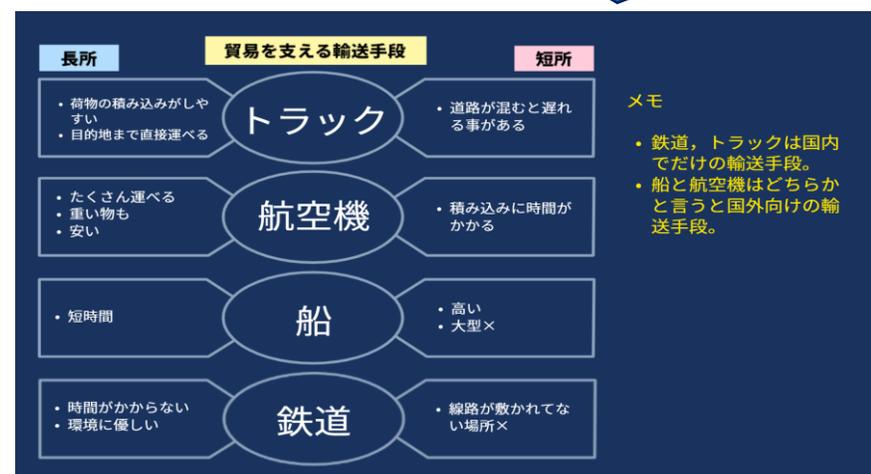
日本の主な輸出品と輸入品

	品目・相手先	昔と今を比べると	特ちょう
輸出	ic…（台湾、韓国、中国など） 自動車…（アメリカ、オーストラリア、中国など） 自動車部品…（アメリカ、タイ、中国など） 鉄鋼…（アメリカ、タイ、中国など） プラスチック…（アメリカ、台湾、中国など）	<ul style="list-style-type: none"> 機械類を昔よりかなり多く売っている。 輸出額が昔のほぼ4倍に膨れ上がっている。 	中国やアメリカへの輸出が多い。機械類の輸出がとても多い。
輸入	原油…（アラブ首長国連邦、サウジアラビア、カタールなど） 液化ガス…（オーストラリア、アメリカ、カタールなど） 衣類…（中国、ベトナム、インドネシアなど） 医薬品…（アメリカ、ドイツ） 機械類…（中国、台湾、アメリカなど）	<ul style="list-style-type: none"> 原油の輸入が昔より減り、機械類の輸入が昔よりかなり増えている。 輸入額が昔のほぼ3倍に膨れ上がっている。 	機械類を様々な国から輸入している。機械類の輸出が多いのになぜか輸入でも機械類が多い。

提出箱で考えを共有。友達から学ぶ。



キャンディチャートを活用して整理。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立日詰小学校（岩手県）【協力校】

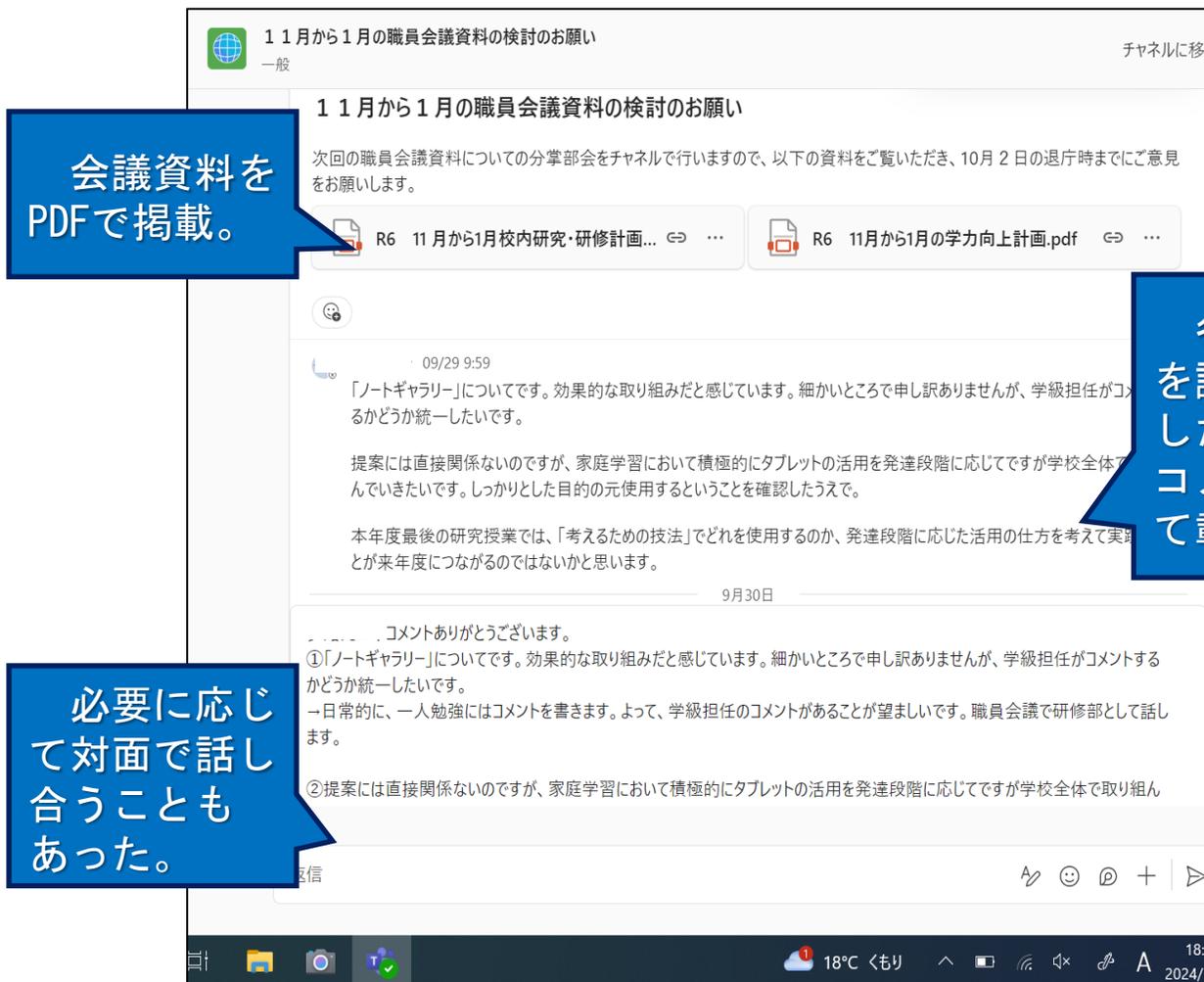
【取組内容】 「Microsoft Teams」の活用 校務分掌（研修部）の会議の効率化

【概要】

職員会議に提案する内容を研修部会で検討する際に「Microsoft Teams」を活用し、資料の共有と意見交換を行い校務の効率化を図った。

【タブレットPCの活用】

対面で行う研修部会を設定せずに「Microsoft Teams」を活用して協議を行うことにより、個々の時間調整が必要なく、自分の時間設定で協議に参加することができ校務の効率化につながった。



会議資料をPDFで掲載。

各自で資料を読み、検討したいことをコメントとして載せた。

必要に応じて対面で話し合うこともあった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立日詰小学校（岩手県）【協力校】

【取組内容】 タブレットの活用 2年 生活科 「うごくうごく わたしのおもちゃ」

【題材】

身近にある物を使って動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くようにおもちゃを改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら創造的に遊びを作り出そうとする学習である。

【タブレットPCの活用】

これまでに身に付けた画像及び動画の撮影の仕方、文字の入力の仕方、音声の録音の仕方を使って、おもちゃを作る過程や遊ぶ様子を学習支援ソフトに記録し、前時と比較したり他のおもちゃのグループとの相違に気付いたりしながら、創造的に学習に取り組むことができた。

作ったおもちゃについて、工夫したことや改良したことを、写真や動画で説明できるようにした。

グループごとに作成した発表用カード

『くふうしたよ』



グループの発表をするためにタブレットを活用した。



改良前のおもちゃの様子をタブレットで記録しておいたことで、改善点の説明が明確になった。

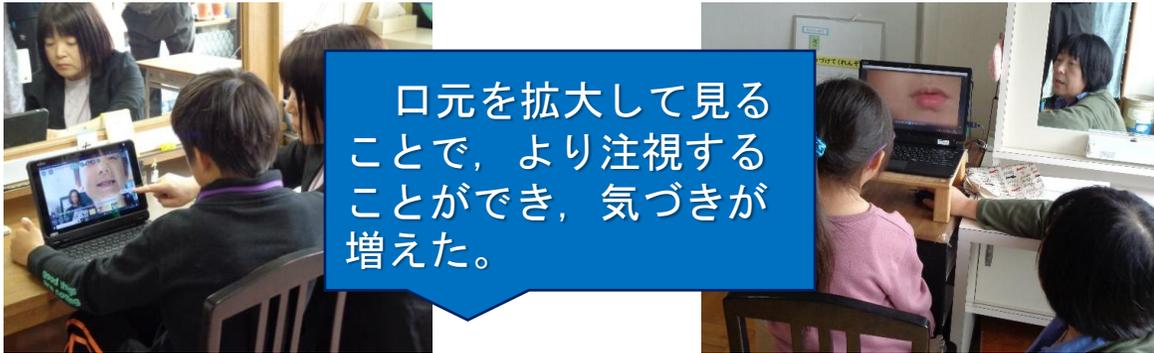
リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立日詰小学校（岩手県）【協力校】

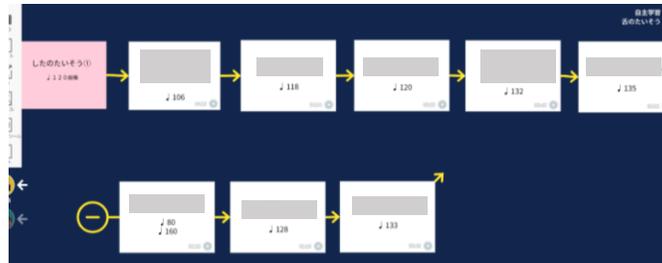
【取組内容】 タブレットの活用 ことばの教室 「正しく発音しよう」

【題材】

歯間化している音や側音化している音について、正しい発音ができるようにする自立活動の取り組みである。



口元を拡大して見ることで、より注視することができ、気づきが増えた。



「舌の体操」では、児童自身が自分に合ったテンポの曲を選び、機能トレーニングを行っている。

【タブレットPCの活用】

舌の機能トレーニングとして「舌の体操」を行う際に、曲を選んでかけたり児童の発音の様子を動画で撮影し口形や舌位を確認したりする。また、1音節の学習前や学習中、学習後の発音の様子についての動画や気付いたこと等を継続的に記録し、自分の姿を客観的に比較しながら、子どもが自分の変容について理解を深めることができた。

タブレットを家庭に持ち帰った際は、保護者とも学習の様子を共有することができた。



児童自身が自分の発音について客観的に確認できるようになり、自分の課題や変容を理解しやすくなった。